

教えの庭から

この夏は、明らかにこれまでとは違う耐えられないほどの暑さが続いていきます。やむなくクーラーをつけた部屋に一日中閉じこもっています。この暑さは、世界的な現象らしく、スペイン南部と中部では熱波が襲い最高気温が40度を超えているということです。

人間は、繁栄や豊かな生活を求めた結果、地球環境や他の植物・動物の生命に大きな影響を及ぼしてきています。本来であれば人間も地球の一部として、環境を汚染することなく、動物や植物たちとうまく共存しなくてはなりません。そんなことを考えていたとき、「ガイア理論」という言葉を久しぶりに思い出しました。「ガイア理論」とは、イギリスの生態学者ジェームズ・ラブロック氏によつ

“いのち”からの“ことば”

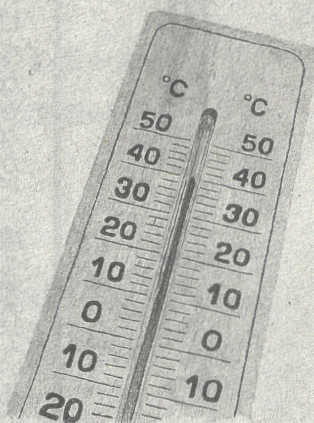
出雲市斐川町・仁照寺住職 江角 弘道

て提唱された、地球は自己調節能力を持ったひとつの“生命体”であると考えられる説です。

つまりガイア理論によると、地球が存続を維持するために地球温暖化や自然災

害を免れ、地球は自己調節能力を持ったひとつの“生命体”であると考えられる説です。

害を免れ、地球は自己調節能力を持ったひとつの“生命体”であると考えられる説です。



挿絵 平尾恵郷

害を免れ、地球は自己調節能力を持ったひとつの“生命体”であると考えられる説です。

害を免れ、地球は自己調節能力を持ったひとつの“生命体”であると考えられる説です。

例年どおり8月13日から15日の間に行いました。80歳を迎えた高齢者である私にとつて、酷暑の中での読経は非常に過酷で、終わる頃には疲労困憊しました。最近では棚経を中止している寺もあるようですが、来年以降は、実施期間を8月以外に移すか、中止とするか、真剣に検討しなければならぬと感じています。

また、この夏は暑さのため、体調面にも影響が出ました。7月初めに行った本山参拝では、軽い熱中症にかかりました。さらに8月末には、自宅でパソコン作業に熱中していたら、目まい、立ち眩み、頭痛や吐き気に襲われ、嘔吐と下痢まで引き起こしてしまいました。今夏の猛暑を通して、私は「地球からのことば」「自分の身体からのことば」に耳を傾けることの大切さを学びました。その声を聞き、これからいかにそのいのちの声に向き合い、丁寧に生きていきたいと思います。